

## 第2回考慮事項研究会のご案内

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、下記の通り、第2回考慮事項研究会を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

ご出席いただける先生におかれましては、3月16日（金）までに、篠原にご連絡くださるよう、お願い申し上げます。

### 記

日時：平成30年3月30日（金） 14：00から

場所：甲南大学9号館4階第5会議室

#### 報告1：尾形健 先生（同志社大学）

##### 報告題目

「社会保障行政・立法に関する司法的裁量統制と考慮事項」

##### 参考文献

- ・尾形健「老齢加算廃止違憲訴訟をめぐって」同志社法学 64 卷 7 号（2013 年）773 頁
- ・同「公的年金引下げ訴訟に関する意見書」（2017 年 9 月）

#### 報告2：山崎友也 先生（金沢大学）

##### 報告題目

「裁判員制度構築における要考慮事項—国民主権原理との関係」

##### 参考文献

- ・最大判平成 23 年 11 月 16 日刑集 65 卷 8 号 1285 頁
- ・柳瀬昇「裁判員制度の憲法適合性」日本法学 82 卷 3 号（2016 年）1045 頁
- ・柳瀬昇「裁判員の職務等と被告人の裁判選択権をめぐる憲法問題—続・裁判員制度の憲法適合性」日本法学 82 卷 4 号（2017 年）1799 頁
- ・柳瀬昇「裁判員制度の意義と展開可能性—続々・裁判員制度の憲法適合性」日本法学 83 卷 1 号（2017 年）1 頁
- ・山崎友也「『意に反する苦役』禁止（憲法 18 条後段）の現代的意義—裁判員制度を合憲とした平成 23 年最大判を契機に」岡田信弘＝笹田栄司＝長谷部恭男編『高見勝利先生古稀記念・憲法の基底と憲法論』（信山社，2015 年）861 頁

研究会幹事：篠原永明（甲南大学）

E-mail：eimei@center.konan-u.ac.jp